

コース3の見どころ“スポット”紹介

① 称名寺 赤穂浪士にゆかりのあるお寺

称名寺は、天長9年(832)空海の弟子弘海が寺院を建立したとして、真言宗にその源流をもちます。その後、浄土真宗に改宗し、現在に至ります。



幸区は四十七士ゆかりの地でした

みどころ このお寺に所蔵されている「紙本着色・四十七士像」という掛軸は、大石内蔵助を頂点に、忠臣蔵で有名な、赤穂浪士四十七士が描かれており、川崎市重要歴史記念物に指定されています。毎年、吉良邸へ討ち入りした日の12月14日に、当寺で一般公開されています。

② 下平間 春風公園 芝生が一面に広がるのどかな公園



住宅地に開けた公園です

称名寺のはす向かいにあるこの公園は、神奈川県の住宅供給公社が元々あった場所でした。広い芝生やすべり台など豊富な遊具で、いつも子どもが元気に遊んでいます。トイレやベンチも設置され、休憩にもってこいです。

③ 古市場コミュニティ道路 長く連なる散策道路

古市場コミュニティ道路(約800m)は、府中街道から多摩川まで連なる散策道路です。かつて多摩川の流れていた場所で、用水路として使われていた跡地に作られています。古市場公園の最北端には、その名残りである古市場ポンプ場があります。周辺には古市場公園や古市場東公園など公園が多くあることも魅力です。



のんびり散策にどうぞ

みどころ 車の往来も少ないのでのんびりと四季折々の草木や花を楽しむことができる道です。

御幸公園近くの土手の上に、新たに「多摩川交流センター」ができました。川崎リバーサイドパークの利用者だけでなく、散歩などで多摩川を訪れた人も利用できる施設です。屋上はオープンスペースになっており、多摩川を一望できます。



④ 天満天神社 学問の神様がいる神社



合格祈願をしてみても?

古市場公園の隣にある、菅原道真公を祭神とした神社で、多くの受験生や商売繁盛を願う人々にぎわっています。約三百数十年前に建立されたといわれ、社会の変化や多摩川の洪水などで移転や大改修を繰り返し、昭和16年1月に現在地に移転されました。昭和37年に地元有志により本殿、社務所などが新たに建立されました。

祭礼が8月の最終土日に行われているほか、毎年祭日の5月3日には、天神の市があり、地域の人たちで賑わっています。

みどころ 境内正面には大正年間に奉納された大銀杏が、左手には「街の樹50選」に選ばれた市の保存樹木クスノキがあります。

⑤ 多摩川リバーサイドパーク (ゴルフ場) 多摩川沿いの気持ちのよいゴルフ場

国道1号の橋下から多摩川河川敷に広がる、9ホール、パー34のゴルフ場で、近隣に住む人をはじめ、腕自慢のゴルファーが技を磨いています。



多摩川を背景に楽しむゴルフ

みどころ コース上のユキヤナギが白い花を咲かせる3~5月ころは、見事な風景となります。

⑥ 御幸公園 かつて明治天皇が行幸された場所



上: 国道沿いのイチヨウ並木
下: 明治天皇臨幸御観梅跡碑

面積が約30,000㎡と広く、川崎市唯一のナイター設備を備えた軟式野球場のある公園です。

江戸中期より、川崎大師参りの名所として「小向梅園」があり、明治17年に明治天皇が観梅されました。天皇がある地へ外出なさることを「行幸」といいますが、同じような意味の言葉である「御幸」が、当時の村名に使われました。この公園の名称も、このことに由来しています。

みどころ 多摩川側には「明治天皇臨幸御観梅跡碑」とともに多くの梅の木があります。また国道1号沿いには十数本の銀杏があり、秋には見事な黄色いじゅうたんが現れます。

コース3
これも
オススメ!